

令和6年度 第2回狭山市文化財保護審議会 会議録

開催日時 令和6年11月18日（月）
午後2時30分から午後4時55分まで

開催場所 教育委員会室

出席者 高橋（光）委員長、林副委員長、岩本委員、高橋（恵）委員、中平委員、
名雲委員、橋本委員、宮瀧委員、吉田委員

事務局 五十嵐生涯学習部長、石井社会教育課長、三ツ木主査、中津主事補

傍聴者数 0名

※審議会前に堀兼神社二神像の現地視察を行った。

議 題

1 令和6年度事業報告および今後の予定について

会議資料に基づき、令和6年度事業報告および今後の予定について事務局より説明し、承認された。

2 令和7年度事業予定について

会議資料に基づき、令和7年度事業予定について事務局より説明し、質疑応答の後、承認された。

質疑等

委 員 清水八幡宮の敷地内に生えていたイチョウの木が無くなっていたことについて、経緯を教えてほしい。

事務局 維持管理が困難なため神社の管理をしている自治会が切ってしまった、ということで事後報告を受けました。

委 員 指定文化財ではないとはいえ長く親しまれてきたイチョウの木が突然切られてしまったのは非常に残念である。景観の維持は重要だと考える。

委 員 景観についての計画を策定するのはいかがか。

事務局 検討してまいります。

委 員 狭山市入間川七夕まつりでの囃子の上演について、七夕まつりの実行委員会から狭山市民俗芸能祭囃子連合会へ直接出演依頼をするのではなく、社会教育課を経由するようになった理由は。

事務局 実行委員会のメンバーが入れ替わった際に、七夕まつりにおける囃子の上演に対する認識が変わってしまったことがきっかけです。

- 委員 民俗芸能の後継者育成について、学校の授業を通じて囃子を体験するなど、民俗芸能に触れ合う機会をぜひ創出をしていただきたい。
- 事務局 学校の授業を通じた囃子の体験は、以前実施していましたが、コロナ禍を経て継続が難しくなっていました。現在は、公民館での体験会を実施しているほか、当課としても囃子を体験できるイベントの実施を検討しています。
- 委員 学校の授業で実施することには、興味のない子どもにもアプローチできるというメリットがあるので、ぜひ再開できるように検討願いたい。
- 委員 過去に開催していた民俗芸能大会のようなイベントを再開していただきたい。
- 事務局 前向きに検討していきます。また、昨年度から「茶の里ウオーキング」内で囃子の上演を行うなど、多くの方に見ていただける機会の創出に尽力しています。

その他、各委員から意見等を頂いた。

- 委員 狭山市立博物館の資料収集において、社会教育課から依頼を受けて調査をした柏原地区の旧家に伝わった古文書群の内、「本堂奉納品々覚」について紹介する。これは、柏原地区で活動していた柏原鋳物師の作品であることを記した控で、現在確認されていない柏原鋳物師の作例を記録していることから、今後の所在確認調査の手がかりになるものと考えられる。
- 事務局 調査結果を今後の業務の参考にさせていただきます。
- 委員 菅原囃子で使用していた山車の保管については、様々な意見があると思うが他自治体の事例等を聞き、検討していただきたい。
- 事務局 承りました。